

西海ブロック水産業情報

No. 107(2019年10月～12月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	<p>【有明研】 10月27日に採苗開始。 11月5日～19日まで、<i>Chaetoceros</i> spp.赤潮発生により栄養塩が低下。同時にノリ葉状体の色調も低下。 このため、ノリ網を沖の漁場へ展開する作業が停滞し、ノリの生長が遅れた。 秋芽生産は12月31日まで行われ、生産枚数3億8138万枚(過去5年比125%)、金額56億6078万円(過去5年比141%)、平均単価14.841円(過去5年比+1.65円)</p> <p>【豊前研】 カキ養殖：産卵後の海況が不安定であったことから、例年より早く斃死が発生し、長期化。 栽培関連：「かぐや装置」によるアサリ稚貝生産、網袋による干潟での放流試験を実施中。</p>	<p>【有明】 ・ノリ養殖 令和元年度漁期は10月27日から始まった。育苗期に一部の地域で色落ちが発生したものの、秋芽網期の生産はアカグサレ病の被害が小さく比較的安定していた。12月31日の秋芽網撤去までの生産枚数および生産金額は、前年度と比較してそれぞれ119%および121%であった。 ・カキ養殖 太良町大浦地区の令和元年度の生産はほぼ終了している。今年度は夏期にホヤ等の付着物が大量に付着し、カキの大量斃死が発生したことから、生産量は直近10年で最も少なくなる見通しである。令和2年度生産分については、1月17日に宮城県産の種ガキを搬入し、3月中旬現在、抑制柵で抑制中である。垂下筏への沖出しは4月から順次開始される予定である。</p> <p>【玄海】 ・カサゴ：5月下旬から8月上旬に全長50～60mmを4千尾配布済。6月中旬から下旬に全長60～70mmを9万尾配布済。 ・クロアワビ：平成29年度産：4月中旬に放流用約3千個(30mmサイズ)を配布済。平成30年度産：殻長16～32mm約5万個飼育中(12月上旬)。 ・ナマコ：アオナマコは6月上旬から11月上旬に約78.5万個配布済。アカナマコは6月中旬から11月上旬に約51.6万個配布済。 ・マサバ：67～140mmサイズ約16.6万尾を唐津市へ引渡完了。</p>		<p>【10月】 プリ、シマアジでレンサ球菌症(Ⅱ型)発生 プリ、カンパチ、シマアジでノカルジア症発生 マダイでイリドウィルス病、エドワジエラ症発生</p> <p>【11月】 プリ、カンパチ、シマアジでノカルジア症発生 アコヤガイで赤変病発生</p> <p>【12月】 アコヤガイで赤変病発生</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>・11月下旬からプリ種苗生産実証試験を実施 ・イワガキ養殖用種苗3千個出荷(30mm)</p>			<p>特記事項なし</p>